

川崎市農政情報誌

～第16号～

かわさきそだち

～『農』のあるライフスタイルをめざして～

発行 川崎市農業振興センター

〒213-0015

川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464



「かわさき地産地消フェア」を開催します!



新鮮・安全・安心な川崎市内産農畜産物・農産加工品「かわさきそだち」を市内南部のみなさまにより知っていただくため、川崎駅地下街アゼリアでイベントを開催します。

高い栽培技術を誇る高品質な農畜産物「かわさきそだち」をお買い求めいただけるチャンスです♪
ぜひご来場ください!!

日時 平成24年7月8日(日) 10時30分～15時30分

会場 川崎アゼリア地下街 サンライト広場

交通 JR「川崎」駅または京浜急行「京急川崎」駅 下車

- 内容**
- 夏季農産物品評会及び即売
 - 市内産農畜産物「かわさきそだち」の販売
 - 市内生産者が生産した農産加工品等の販売
 - 友好都市・長野県富士見町の農産物、加工品の販売
 - 被災地の物産販売



▲昨年の様子



平成24年度 かわさき「農」イベント年間(7月以降)スケジュール

開催時期(予定)	イベント	開催場所
7月 8日(日)	かわさき地産地消フェア	川崎アゼリア(地下街)
20日(金)	第1回 かわさきそだち料理教室	高津市民館
8月 下旬	川崎市梨・ぶどう品評会(前期の部)	大型農産物直売所セレサモス(予定)
9月 月上旬	川崎市梨・ぶどう品評会(後期の部)	農業技術支援センター(予定)
10月 下旬	大型農産物直売所セレサモスバスツアー(1回目)	セレサモスほか市内農地等見学
11月 月上旬	大型農産物直売所セレサモスバスツアー(2回目)	セレサモスほか市内農地等見学
下旬	川崎市園芸展覧会園芸生産物品評会	未定
12月 月上旬	第2回 かわさきそだち料理教室	高津市民館
1月 20日(日)	かわさき農業フォーラム	未定

市民の皆さんが参加・体験できるイベント情報などをパソコンや携帯電話にお知らせしています。

登録はこちらから空メールを送信してください。

*パソコン利用者向け mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp

*携帯電話利用者向け mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp

「メールニュースかわさき」からメールが届いたら「ご利用上の注意」を必ずご覧の上登録ください。



(お問い合わせ先)

川崎市農業振興センター農業振興課 ☎860-2462 FAX 860-2464

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>

(『かわさきの農業』で検索)

花と緑の市民フェア・畜産まつりを開催しました!

5月18日(金)から20日(日)の3日間、等々力緑地の催物広場で「第43回花と緑の市民フェア」を開催しました。「花と緑をくらしのなかに」を合言葉にさまざまな催物が行われ、中央広場では約30の出店者が植木や鉢花の即売を行いました。今年も地元の小学生がたくさん来場し、トマトやキュウリなどの夏野菜の苗を購入してくれました。

毎年恒例の植木・花の品評会も開催されました。市内生産者の高い栽培技術によって生産された植木や花が239点出品され、とくに優秀なものは神奈川県知事賞や川崎市長賞を受賞されました。品評会の出品物は一般観覧ののち、

即売されましたが、受賞した作品などが飛びように売れていきました。

そのほか、青空園芸教室や園芸相談などたくさんの催物を実施され、会場はたくさんの来場者で賑わいました。

また、今年も「川崎市畜産まつり」が同時開催されました。大都市川崎でも畜産が行われているのをご存知でしょうか?このイベントは市内の畜産業を身近に感じていただくために実施しております。乳牛や豚、鶏の展示、バター作り、牛の乳搾りなど、なかなか体験できないイベントがもりだくさん。たくさんの親子が参加してくれました。

花と緑の市民フェア、畜産まつりは今後も開催いたします。ぜひみなさんのお越しをお待ちしております!



▲花や野菜苗が即売され、お店がたくさんのお客様で賑わいました。



▲青空園芸教室の様子



▲700kgを超える乳牛から直接手で乳を搾ります。

各賞の受賞者

第43回「花と緑の市民フェア」内開催

●平成24年度花の品評会 優秀賞受賞

「梅花ウツギ」 吉田 恵一(宮前区馬絹)

●第48回川崎市園芸展覧会・植木品評会 優秀賞受賞

「枝垂れエゴノキ」 小島千夏子(宮前区野川)

掲 示 板

市民ファーム農園を開設しませんか

ファーム農園は、農家自らが開設・運営を行う市民農園です。特定農地貸付けにより市民の農体験の場を確保し、良好な農地の保全を図ることを目的としています。現在、多摩区、麻生区に7箇所開設され、多くの市民が利用しています。ファーム農園の制度、開設手続き等については、農業振興課へお問合せください。

森林法の改正により森林土地所有者の届出制度が創設されました

平成24年4月1日から、新たに森林の土地の所有者となった方は、市町村長への届出が義務付けられました。届出の対象となる土地であるかは、農業振興課へご確認ください。

お問い合わせ先 農業振興課 ☎860-2462

農地法第3条が改正されました

農地の売買、贈与、賃貸借などには農地法第3条に基づく農業委員会の許可が必要です。これまで川崎市内の農地を買う、もしくは借りる者が「市外に在住または事業所がある場合」は県知事の許可となっていました。この度法改正により、平成24年4月より川崎市農業委員会が許可権者となりました。この許可を受けないでした行為は、無効となりますのでご注意ください。

お問い合わせ先 川崎市農業委員会事務局 ☎860-2461

募集案内

「かわさきそだち料理教室」の開催

日 時/7月20日(金) 10時~13時

会 場/高津市民館 参加費/500円

募集期間/6月25日(月)~7月13日(金)

詳細は、市政だより6月21日号「お知らせ掲示板」をご覧ください。

平成24年度セレスモス「農業情報センター」イベント紹介

本市ではセレスモス農業情報センターにおいてJAセレス川崎と協調してイベントを実施しております。

(1) 一般向けワークショップ

時期	イベントの名称	内容
9月上旬	多摩川梨フェア	売り場に特設コーナーを設けるとともに、パネル等の展示や技術顧問による相談コーナーを設置
10月上旬	柿フェア	
12月上旬	シクラメン・パンジーフェア	
毎月1回	セレスモス試食会	旬の野菜を使った料理の紹介
毎月第3金曜日	食育ソムリエイベント	旬の野菜の品種・レシピの紹介

(2) 出荷者向け講習会

時期	講習会	内容
7月中旬	果樹全般①	カンキツ類の栽培管理・病害虫防除について
2月下旬	果樹全般②	冬季から春にかけての管理について
9月上旬	花き全般①	切花を中心に花き全般の情報提供
2月中旬	花き全般②	
2月上旬	環境保全型農業	環境保全型農業の情報提供

(3) グリーン・ツーリズムイベント「講習会」

時期	内容
①7月上旬	グリーン・ツーリズムの楽しみ方を学び、ジャガイモ等の収穫体験を行う。
②10月中旬	

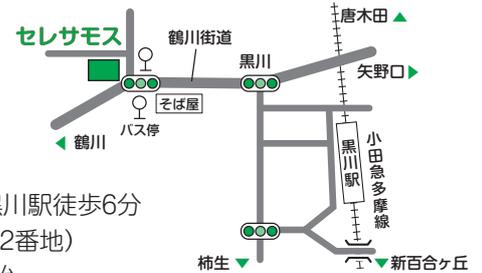
お問い合わせ・申込み先

大型農産物直売所「セレスモス」

☎989-5311

場所／小田急多摩線黒川駅徒歩6分
(麻生区黒川172番地)

定休日／水曜日、年末年始



農業技術情報

夏まきキャベツのアオムシ防除について

キャベツの育苗・定植時期にあたる7~9月は、アオムシ等チョウ目の被害が多い時期です。

【クロラントラニプロール水和剤

(商品名: プレバソンフロアブル5)】

農業技術支援センターでは、新たな防除方法について、プレバソンフロアブル5 100倍液を灌注したキャベツの苗を生産者のほ場で試験栽培しました。その結果、アオムシ等を1か月程度抑えることが確認できました。

しかし、灌注での使用はセルトレーやペーパーポットのものにしか登録がなかったため、地床での育苗がメインな本市では、普及が進みませんでした。ところが、昨年の本農薬の登録拡大で、キャベツに限り地床へも灌注できるようになり、利用しやすくなりました。

【キャベツ苗地床への灌注方法・ポイント】

灌注方法は、キャベツを育苗している地床に、ジョウロ等で500倍に希釈したプレバソンフロアブル5を1㎡当り2ℓ注ぎかけます。

灌注後、根から吸収された農薬は作物全体に行き渡り効果を発揮します。そのため灌注は、雨の降らないような晴れた日の午前中（根の活動が活発なため）に行います。

通常の薬剤散布に比べ、処理面積と液量が少なくすむため、作業も軽減されます。また、噴霧ではないので薬剤が飛び散るドリフトも軽減できます。

【防除体系の提案】

農業技術支援センターの調査では本農薬がアオムシだけでなく、シンクイムシの被害も抑制しているようでした。育苗期の防虫ネットと地床灌注を組み合わせ、次のような防除に取り組んでみてはいかがでしょうか。

夏まきキャベツのアオムシを対象とした防除体系 例



※プレバソンフロアブル5は、アザミウマ、アブラムシ等に効果がないので、別に防除が必要です。また、キャベツ苗地床への灌注の使用時期は、登録上は育苗期後半～定植当日ですが、本圖で効果を持続させるために、定植3日前～前日をお薦めします。

【注意点】本文中の農業については、機関紙掲載時点の農業登録に基づいています。農業の使用に当たっては、ラベルに表示されている事項を遵守してください。

お問い合わせ先 農業技術支援センター ☎945-0153



▲小島さん

今回は、宮前区野川で露地野菜を栽培している小島仁志さんのお宅を訪問しました。小島さんは市内で初めて環境に配慮した生産を志す取り組みをする農業者「エコファーマー」として神奈川県から認定をされました。

小島さんは21歳で就農しましたが、23歳のときに国際農業者交流協会のプログラムに参加。2年間米国の日系3世の野菜農家さんのところで生産技術を学んだそうです。生産技術の習得は当然のことながら、習慣や文化の違う中で、自分を見つめ、日本を見つめるいい経験だったとおっしゃっていました。

また、プログラム事前研修で知り合った先輩との出会いは、小島さんが有機農法を始めるきっかけとなり、栽培技術や販路拡大など大きな影響を受けているそうです。

現在、小島さんがエコファーマーの認定を受けている品目は、カブ、ミニトマト、レタス、サヤインゲン、ナバナの5品目。有機質肥料のうち、1/3はNECの食堂の生ごみからできた肥料を使用しているそうです。

エコファーマーに認定されたことで、エコファーマーネットワークに加入でき、人脈の広がりとともに様々な情報が得られ、生産につなげることができているそうです。小島さんはエコファーマーネットワークのほかにも、宮前クリーン農業研究会や耕土改良部会トラクターの会に属するなど様々なところで研究を続けておられます。

そんな研究熱心な小島さんですが、野菜作りのモットーは「自分の作った野菜を食べて、健康になり喜んでもらえるような野菜作りをしていきたい」と簡潔におっしゃるところが印象的でした。



▲持続性の高い農業生産方式導入計画認定書

知って得する農のことは「エコファーマー」

堆肥等による土づくりと化学肥料、化学合成農薬の使用の低減を一体的に行なう生産方式を導入しようとする農業者



かわさき農産物ブランド

おいしい「トマト」を食べよう!

選び方

- 色付きが均等なもの
- ヘタがピンと張っているもの
- ヘタと実の間にすき間がないもの
- 丸みがあって（品種によって先が尖っているものもある）重量感があるもの

保存法

- 冷やしすぎると、味が落ちるので、夏場以外は冷蔵庫に入れずに、冷暗所に置くのが良いようです。



かわさきそばでクッキング

野菜みそ



材 料

基本のねりみそ・・・200g
 ゆでタケノコ・・・50g
 人参・・・50g
 ごぼう・・・50g
 長ネギ・・・1本（緑の部分も半分入れる）
 しょうが・・・1片
 削り節・・・6g
 ごま油・・・大さじ2
 すりゴマ・・・大さじ2
 （一味唐辛子お好みで）

基本のねりみそ

●材料

みそ・・・200g
 砂糖・・・100g
 みりん・・・大さじ3
 酒・・・大さじ3

●作り方

材料を合わせ弱火にかける。冷めると固くなるので少しゆるめで火を止める。

作り方

- 1 しょうが・長ネギは、みじん切り、タケノコ・人参・ごぼうは粗みじんに切る。
- 2 フライパンにごま油をひき、しょうがを炒める。
- 3 香りがでたら、ごぼう・人参・タケノコを入れ火が通るまで炒める。
- 4 長ネギ・削り節・ねりみそを加え炒める。
- 5 すりゴマ・一味唐辛子を加えて出来上がり。

レシピ提供：川崎市女性農業担い手の会 あかね会

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景（写真）等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。（〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7 JA せせせせせせビル 2 階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp）

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm> (『かわさきの農業』で検索)